

新潟の
文化と芸術
未来へ紡ぐ対談と
圧巻のパフォーマンス



新潟県文化祭

2023

キックオフイベント

7月30日(日)

入場無料
自由席

新潟市江南区
文化会館



MC 廣川 明美

| 開場 | 13:00 | 公演 | 13:30-15:30 (予定) | 新潟市江南区茅野山3丁目1番14号

文化芸術に
ふれて感じる
世代をこえた絆

新潟県文化祭

2023

県主催公演

8月6日(日)

| 開場 | 12:45 | 公演 | 13:30-15:35 (予定)

入場無料
自由席

村上市民
ふれあいセンター

村上市岩船3270番地

国民的歌手
小林幸子



シンガーソングライター
泉そおい



MC 本間 日陽



MC 上しもと新演劇
団 団長 関田 将人

村上市スペシャルアンバサダー

応募方法

観覧をご希望の方は、
応募フォーム、または通常ハガキの
いずれかでお申し込みください。
応募多数の場合、抽選となります。結果は当選者には
入場整理券を、落選者には通知をお送りします。

応募フォーム

7/30公演



8/6公演



ハガキの場合、①～⑤をご記入の上、下記までお申し込みください。①氏名 ②年代 ③郵便番号 ④住所 ⑤携帯番号
※2名様で申込の場合①②のみ2名様をご記入ください。※個人情報等は本事業の実施目的にのみ使用いたします。

■ 通常ハガキ 宛先は必ず係まですべて記入してください。
〒950-8535 新潟市中央区万代3-1-1
新潟日報社 地域ビジネス部
7/30公演→「キックオフイベント」観覧募集係宛
8/6公演→「県主催公演」観覧募集係宛

申込期限

7月11日(火)
必着

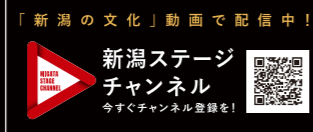
観覧には
入場整理券が必要です。
お申し込み1口につき2名様まで

※出演者は変更になる場合がございます。※出演者へのプレゼントや出入り待ちはお断りいたします。

主催 新潟県 共催 村上市 (8/6公演のみ)

後援 新潟日報社、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、朝日新聞新潟支局、日本経済新聞社新潟支局、
スポーツニッポン新聞社新潟支局、共同通信社新潟支局、時事通信社新潟支局、NHK新潟放送局、
BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、FM新潟77.5、新潟県教育委員会

お問い合わせ先 新潟日報社 地域ビジネス部 〒950-8535 新潟市中央区万代3-1-1
TEL. 025-385-7432 (土日祝除く10:00~17:00) E-Mail. stage-bunka@niigata-nippo.co.jp



「新潟の文化」動画で配信中！
新潟ステージ
チャンネル
今すぐチャンネル登録を！

作品展示「障害とアート」
同時開催！

新潟県文化祭2023 検索
https://n-story.jp/bunkasai/

Culture Niigata

2023.07-08
Vol.115

【令和5年6月25日発行】発行/新潟県 編集・制作/(株)関東朝日広告社 デザイン/(株)アドテクノロジーエム 印刷/明栄印刷(株)

Culture Niigata

— “感動”が人をつくる —

新潟文化情報誌
カルチャーにいがた

2023.07-08
Vol.115



NEXT STAGE

— 情熱の行方 —

声楽家(バリトン歌手)宮本 益光

新潟イベント情報

親子で楽しもう

シリーズ URAKATA



NEXT 情熱の行方 STAGE

これからの舞台芸術を担う、アーティストを紹介する「NEXT STAGE」
登場いただくのは、声楽家の宮本益光さん。8月20日(日)に行われる「ハンサム四兄弟スペシャルコンサート」とオペラ、クラシックへの思いを聞いた。

呼吸の変容した芸術が歌なんです
だからこそ誰もが楽しめる

声楽家(バリトン歌手) **宮本 益光**
Masumitsu Miyamoto

音楽の教員になるつもりが いつしか声楽家の道へ

—声楽家を目指したきっかけを教えてください。

もともとは音楽の教員になるのが夢でした。小学4年の時に赴任してきた音楽の先生の影響です。その先生は3年間で普通の小学校を音楽色に染め上げ、大半の6年生が卒業文集に「将来は音楽の仕事につきたい」と書くほどでした。こんな魅力的な大人になりたいと思いました。

中学高校と吹奏楽部。ただ、音楽の教員になるためには、授業の大半で教えることになる「歌」を好きにならないと説得力がないと思い、必死に勉強して東京藝大の音楽科へ進学しました。その後、修士課程、博士課程へと進むのですが、これらもすべて教員になるための糧と考えてのことでした。

学業の合間にオーディションを受けてコンサートやオペラへ出るようになりましたが、これもまた「こういう経験を持つ教員がいてもいいのではないか」と思ったからです。ところが思いがけずステージで歌うことや、オペラへの出演依頼が増えていき、次第に僕の気持ちもグラデーションのように変化していきました。「もしかしら声楽家でも教員になってやりたかったこと、すなわち音楽の知識はもちろん、楽しさを伝えることができるのではないかと。それで教員

試験は受けず、声楽家の道へ進んだ次第です。でも、30代半ばぐらいまでずっと後ろめたさというかコンプレックスがありましたね。

—それはなぜでしょうか？

周りは若い頃から自分への投資を惜しまず、留学していました。でも、僕は教師が一番の目標だったので海外へ行ったことがなかった。そんな中、海外の演奏家や指揮者と一緒に仕事する機会が増え、彼らが僕の歌を褒めてくれるのですが何か違うのではないかと素直に喜べないわけです。僕はオペラの本場で受け入れられるレベルなのか。その不安を少しでも払拭したくてとにかく稽古を重ねました。

—公演が決まると準備もかなり入念に行うそうですが。

準備をしっかり行うことでやはり自分の中のコンプレックスを払拭し、自分がそこに立つ理由を自分の中に持たたいのだと思います。ただ、純粋に準備を楽しんでいるところもあります。私たちが何をすればお客様が喜んでくれるかを考えて事前準備をする作業は、どこか教師が生徒に興味を持ってもらうため授業の準備をするのとちょっと似ている気がするのです。そういうことがたぶん根っから好きなんじゃないかな。

—声楽家として大切にされていることは？

陶芸家が完成した器が気に入らないと割ってしまうよう

に、自分が納得できずして、人を満足させることはできないと思っています。そのため、まずは自分の本分を全うすべく、その作品、作曲家、詩人、台本作家と正面から対峙したい。彼らに聴かれても恥ずかしくない演奏を第一に考えています。その上でお客様に楽しんでもらえるようにしたいと心がけています。

バリトン歌手4名で結成の ハンサム四兄弟。お客様は“ご親戚”

—8月20日(日)、見附市文化ホールアルカディアで「ハンサム四兄弟スペシャルコンサート」が開催されます。まずは「ハンサム四兄弟」について教えてください。

2018年の3月に「何か面白い企画を」と依頼を受け、バリトン歌手同士で歌ってみたいと思い、与那城敬、近藤圭、加来徹の3人に声をかけたのが始まりです。僕とレパートリーの系統が近いこと、それでいて独自の視点を持ち合わせている面々です。しかも、僕をのぞいてイケメンばかり。チャーミングなユニット名にしたいと「ハンサム四兄弟」と名付けました。このユニットでの活動は“ハン活”、お客様は“ご親戚”とお呼びしています(笑)。

—ちなみにどんな“四兄弟”ですか？

僕が長男で仕切り屋です。次男の与那城くんは天然キャラでほどよく力が抜けています。三男の近藤くんは気遣いの人、四男の加来くんはまだまだ隠された素顔がありそう(笑)。みんな主演級の歌手です。稽古をしていてもやつつけ感がなく、ひたむきで真摯、嘘がないところが僕は好きですね。

—そうそうたる“四兄弟”による8月20日のコンサート。どんな感じになりそうですか？

1部は声楽の奥深さを体感していただくため、四者四様、4カ国語で世界の歌曲をお届けします。2部はゲストのソプラノ歌手・鈴木愛美さんと二重唱。演技をつけてオペラをやる予定です。3部はそれぞれが得意のオペラアリアを披露。衣裳を着て登場します。ラストの4部は作曲家、ピアニスト・加藤昌則さんのアレンジで、映画音楽で世界を巡るといった構成になっています。バリトンは一般的に人が口ずさむことのできる音域なので、4部で聴きなじみのある曲があれば、一緒に歌っていただけたらと思います。

—どれも楽しめそうですね。このコンサートの前、7月8日(土)には、見附市のアルカディア青少年少女合唱団に合唱指導されるとのこと。

子どもたちに会えるのが楽しみで仕方ありません。子どもたちにとって音楽の新たな扉となり、より歌が好きになってくれる時間になればいいなと。教えるというよりは一緒に遊べたらうれしいですね。

—多くの人に伝えたい、オペラとクラシックの魅力についてお聞かせください。

クラシック音楽の良いところは存在そのものが歴史。私たちがどんな宗教観を持っていても教会のたたずまいを見て感動したり、外国の方が清水寺など古寺を見て何かを感じるのと同じです。例えば、モーツァルトの曲とは200年の隔たりがありますが、今に至るまで脈々と受け継がれたものに触れることができます。何より歌に関しては人間が生まれてから死ぬまでやり続ける「呼吸」が芸術と化したもの。ドイツ語やイタリア語のオペラだって呼吸の延長線上で芸術となったものなんです。ぜひ身近に感じて楽しんでいただけたらと思います。



〈Profile〉 宮本 益光 (みやもと ますみつ) バリトン Masumitsu Miyamoto, Baritone

東京藝術大学卒業、同大学院博士課程修了。学術(音楽)博士号取得。2003年A.プレヴィン『欲望という名の電車』スタンリーで一躍注目を集め、以降、二期会『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、『金閣寺』溝口、神奈川県民ホール『魔笛』パパゲーノ等、話題の公演に数多く出演。また演奏のみならず、作詞、訳詞、執筆、演出等でも多彩に活躍。著作に「職業 宮本益光」、歌曲集「私の歌」等がある。MOZART SINGERS JAPAN主宰。桐朋学園大学准教授、聖徳大学客員准教授、東京藝術大学講師。愛媛県出身。二期会会員

公演情報 ハンサム四兄弟スペシャル・コンサート
8月20日(日)14:00 見附市文化ホール アルカディア ※詳しくはP5をご覧ください。



Event

新潟イベント情報

県内で行われる様々な催物情報をお届けします。
会場に足を踏み入れると、そこは別世界。是非、体感してみてください。

- コンサート
- ミュージカル・演劇・舞踊
- 古典・伝統
- 美術展
- その他イベント
- 県主催
- 県民文化活動推進事業
- 保育ルーム (託児あり)

※未就学児は入場不可の場合があります。の公演には託児室を設置します。(要予約)
※6月上旬の情報です。詳細については、各問合せ先へご確認ください。
※**県主催**公演は、令和5年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業を活用しています。(新潟県音楽コンクール本選会、音楽劇「精霊の守り人」は除く。)

ホームページ「新潟文化物語」にも各種催物情報を掲載しています。掲載をご希望の方はホームページ上から登録をお願いします。

新潟文化物語

「新潟イベント情報」への掲載をご希望の方は、下記までご連絡ください。次号vol.116は、8月25日発行予定です。7/10(月)までに、9月～12月上旬の催物情報をお寄せください。

新潟県文化課「カルチャーにいがた」係

Tel 025-280-5139 メール ngt150030@pref.niigata.lg.jp

7/15(土) 8/27(日)

上越科学館 9:00~18:00 (券売は17:30まで)

透かすと見えてくるもの 「透けとるん?」展

普段よく見かけるものでも、中はどうなっているのかわからないものがあります。野菜などは切れば中は見えますが、切れないものはどうしたら…。X線、CT、薬品、など様々な方法でモノを透かして見てみましょう。



ティラノサウルスの大腿骨(実物化石)

一般:800円 小中学生:400円 シニア(65歳以上):500円

上越科学館 Tel.025-544-3939

【主催】上越科学館

7/15(土) 9/3(日)

新潟県立自然科学館 平日 9:30~16:30 土日祝および夏期(7/24~8/25) 9:30~17:00 (券売は閉館30分前まで)7/18(火)、8/29(火) 休館

夏の特別展「リトルプラネット in 新潟 2023」

遊びが学びに変わる次世代型テーマパーク。自分が描いた車が映像で走り出すお絵かき3Dレーシングや全身を使って遊ぶシューティングアトラクションなど、デジタル技術と遊びが融合した新しい体験ができます。



© 2023 Litpla Inc.

一般:1,480円 中学生以下:800円 未就学児(3歳以上):500円 ※常設展観覧券含む ※未就学児の入場には、高校生以上の方の同伴が必要です。

新潟県立自然科学館 Tel.025-283-3331

【主催】新潟県立自然科学館、BSN新潟放送

7/16(日) 14:00

ラポルテ五泉

【全席指定】 一般:2,000円 高校生以下:500円(当日各500円増) ※未就学児の入場はご遠慮ください。

ラポルテ五泉 Tel. 0250-41-1612

奥村愛 ヴァイオリン・カルテット 県主催

新潟県出身の奥村愛が率いる第一線で活躍するヴァイオリニストのカルテット。南魚沼公演には新潟県出身の鍵富弦太郎も出演!

出演:奥村愛(新潟県出身)、西江辰郎、三上亮(※五泉公演のみ)、前田尚徳(※五泉公演のみ)、鍵富弦太郎(新潟県出身※南魚沼公演のみ)、佐久間聡一(※南魚沼公演のみ)、山田武彦(ピアノ)

曲目:J.シュトラウス・奥村景福/喜劇「こうもり」序曲、ヴィヴァルディ/4つのヴァイオリンのための協奏曲RV.580、モーツァルト/歌劇「魔笛」より夜の女王のアリア 他



奥村愛 ©Toru-Hasumi



【主催】新潟県、ラポルテ五泉(五泉公演のみ)、(公財)南魚沼市文化スポーツ振興公社(南魚沼公演のみ)、令和5年度舞台芸術を活用した県民参加・体験拡大プロジェクト実行委員会

7/17(月) 祝 10:30

新潟市音楽文化会館

ムジークプラッツvol.6 おんがくの宝箱 ~水辺の音楽会~

0歳から大人の方まで幅広い世代に好評のコンサート!みんなが笑顔で口ずさんでしまうあの曲をピアノソロや連弾でお届けします。(館内におむつ替えベッド、授乳スペース有り)

曲目:ショパン/前奏曲集より「雨だれ」、サン＝サーンス/動物の謝肉祭より、しゃぼん玉、うみ 他



【全席自由】 大人:700円 小学生~高校生:300円 未就学児:無料

ムジカントの森 メール:niigata.musikplatz@gmail.com Tel.090-3962-8231 (13:00~18:00)

【主催】ムジカントの森

7/30(日) 15:00

上越文化会館 大ホール

宝くじ文化公演 スクリーンミュージックコンサート

一流アーティストが奏でる名曲シネマ音楽を中心としたコンサート。世代を超えて皆さんに聞いてもらいたい名曲の数々をお届けいたします。

出演:東儀秀樹(雅楽師)、川井郁子(ヴァイオリン)、小松亮太(バンドネオン)、N響メンバー-弦楽四重奏、栗林すみれ(ピアノ)



【全席指定】一般:2,000円 高校生以下・65歳以上:1,500円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

上越文化会館 Tel.025-522-8800

【主催】上越市、(一財)自治総合センター

8/5(土) 13:00

りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

TOKI弦楽四重奏団20周年記念 新潟シンフォニエッタTOKIデビュースペシャルWプログラムコンサート

TOKI弦楽四重奏団20周年記念公演(弦楽四重奏団)プログラム1と新潟シンフォニエッタTOKI(15人編成でのアンサンブル)デビュー公演プログラム2とのW(ダブル)プログラム。

出演:鍵富弦太郎(ヴァイオリン)、平山真紀子(ヴァイオリン)、鈴木康浩(ヴィオラ)、上森祥平(チェロ)他



【全席指定】 一般S席:5,000円 A席:4,000円 学生S席:2,500円 A席:2,000円 (25歳以下、要学生証) ※未就学児の入場はご遠慮ください。

一般社団法人 新潟クラシック音楽協会 Tel.025-256-8568

【主催】一般社団法人 新潟クラシック音楽協会

7/23(日) 13:30

新潟日報メディアシップ 日報ホール

にいがた ヒスイシンポジウム

県民文化活動推進事業(拡大枠)

昨年11月に「新潟県の石」に指定されたヒスイ(翡翠)の魅力や価値、日本人の精神文化に大きな影響を及ぼした歴史等を紹介します。ヒスイの体験イベントもありますので、ぜひご家族でお越しください。

関連事業

「ヒスイギャラリー」7/18(火)~7/23(日) 「ヒスイ原石と紹介パネル展示」7/23(日) ミニトークショー&ヒスイ探し体験 新潟日報メディアシップ・そらの広場等



ヒスイ(翡翠)

入場無料

ヒスイ県石指定記念事業実行委員会(糸魚川市商工観光課内) Tel.025-552-1511(内線2325)

【主催】ヒスイ県石指定記念事業実行委員会

7/30(日) 10:30

りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館

新潟県音楽コンクール 本選会 県主催

若手音楽家の登竜門「県音楽コンクール」。ピアノ、声楽、弦楽、管楽の4部門で、厳しい予選を通過した精鋭たちが出場します。審査終了後は過去の入賞者で県内外で活躍するソプラノ歌手、吉田早穂さんが歌声を披露します。



昨年の本選会の様子

【全席自由】一般:1,500円(当日300円増) 中学生以下:400円(当日100円増)

新潟日報社ふれあい事業部 県音楽コンクール係 Tel.025-385-7470

【主催】新潟県、新潟市、新潟日报社、BSN新潟放送 他

8/11(金) 祝 14:00

田上町交流会館

田上町交流会館 コンサート

大学で音楽を学び、演奏家を目指す若者が交流会館に大集合。ピアノを始めとした多彩な楽器等による思い出の曲や初めてチャレンジする曲など、それぞれに思いのこもった多彩な音色を楽しんでください。



【全席自由】入場無料(要整理券)

田上町教育委員会生涯学習係 Tel.0256-47-1201

【主催】田上町教育委員会生涯学習係

8/20日 14:00 見附市文化ホール アルカディア

ハンサム四兄弟 スペシャル・コンサート 県主催

日本を代表する4人のバリトン歌手と、新潟県出身のソプラノ鈴木愛美による夢の競演。



出演：宮本益光、与那城敬、近藤圭、加来徹、鈴木愛美(ソプラノ・新潟県出身)、加藤昌則(ピアノ)
曲目：ラマニノフ/夜の静けさに、モーツァルト/「フィガロの結婚」より、ビゼー/「カルメン」より、映画音楽で巡る世界一周メドレー ほか

【全席指定】一般：2,500円 高校生以下：500円(当日各500円増) ※未就学児の入場はご遠慮ください。

見附市文化ホールアルカディア Tel.0258-63-5321

【主催】新潟県、見附市文化ホール、令和5年度舞台芸術を活用した県民参加・体験拡大プロジェクト実行委員会

8/20日 14:00 柏崎市文化会館アルフォーレ 大ホール

柏崎音楽協会25周年記念 ファイナルコンサート 県民文化活動推進事業(通常枠)

ゲストに笛田博昭さんを迎え、市民公募による歌詞と市出身の作曲家による新作柏崎讃歌「柏崎の思い出」を柏崎音協合唱団と柏崎少年少女合唱団の共演でお披露目します。



第1部：笛田博昭(湯沢町出身)テノールリサイタルオペラ「トゥーランドット」より「誰も寝てはならぬ」、オペラ「トスカ」より「星は光りぬ」、映画「ゴッドファーザー」より「愛のテーマ」ほか
第2部：「ふるさとの四季」「柏崎の思い出」等
出演：柏崎音協合唱団、柏崎少年少女合唱団、アンサンブル・オピリー(弦楽)
指揮：佐藤匠

【全席指定】一般：2,000円(当日1,000円増) 中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方：無料(要事前申込)

笑顔相続サロン®上越妙高(稲場) Tel.025-520-8730(9:30~18:00)

【主催】柏崎音楽協会

8/24木 26土

妙高市文化ホール 各日とも10:00~17:00(途中休憩あり)

MYOKO SKOOL vol.6 敷地理 ワークショップ 身体と声のレゾナンス/表現を取り巻く人たちのためのアート・キャンプ-見る、語る、創る

ベルギーと日本を拠点に、振付家・ダンサーとして舞台芸術と現代美術の両方の分野で活躍し多彩な才能で世界的な注目を集める敷地理と越智雄磨(東京都立大学准教授)を講師に招く、表現者と表現者を支える人のための3日間のワークショップ。



一般：1日券 3,000円(3日間通し券 7,000円) 大学生以下：1日券 1,500円(3日間通し券 3,000円)

妙高市文化ホール Tel.0255-72-9411

【主催】(公財)妙高文化振興事業団

8/25金 18:30 上越文化会館 大ホール

障がいがある人もない人も、共に生きるまちをめざして 県民文化活動推進事業(通常枠)

障がい者長崎打楽団「瑞宝太鼓」と全盲のシンガーソングライター「佐藤ひらり」さんのコラボ公演です。障がいがある人の想いや願い、生き方、希望を待ち努力することの大切さをこの公演をきっかけに多くの方に感じて頂ければ幸いです。是非、心震える感動を体感しにご来場ください。



出演：瑞宝太鼓、佐藤ひらり

【全席指定】一般：2,000円(当日1,000円増) 中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方：無料(要事前申込)

笑顔相続サロン®上越妙高(稲場) Tel.025-520-8730(9:30~18:00)

【主催】音楽を通して障がい者就労を考える実行委員会

8/27日 14:00 長岡市立劇場 大ホール

キープ・クラシック・バレエ 『白鳥の湖』全2幕 県主催

歴史と芸術にあふれるウクライナより、若さと気品に満ちたバレエ団が来日!バレエの代名詞といえる作品。初めてのバレエとしても、何度も観るバレエとしても文句なしのプログラム。4歳からご入場いただけます。 ※演奏は特別録音音源を使用



【全席指定】一般：4,500円 4歳~高校生：1,500円

※4歳未満の入場はご遠慮ください。

(公財)長岡市芸術文化振興財団 Tel.0258-29-7715

【主催】新潟県、(公財)長岡市芸術文化振興財団、令和5年度舞台芸術を活用した県民参加・体験拡大プロジェクト実行委員会

9/1金 13:00 15:30(各回60分) ギャラリー蔵織

サロン・コンサート Salon musicale vol.2 ~フルートの名曲とともに~

ガブリエル・フォーレの作品をフルートとピアノでギャラリー蔵織(新潟市中央区西堀通1番町700番地)よりお届けします。



出演：市橋靖子(フルート)、斎藤愛子(ピアノ)
曲目：ガブリエル・フォーレ(1845-1924)/ シンリエヌ 作品78 ファンタジー 作品79 パヴァーヌ 作品50 他

【全席自由】2,500円

木の温もりの音楽事務局 Tel.080-4511-7494

【主催】木の温もりの音楽事務局

9/3日 14:00 新潟県民会館 大ホール

日生劇場ファミリーフェスティバル 2023 音楽劇『精霊の守り人』新潟公演 県主催

世界中で愛されている日本発の冒険ファンタジー。国際アンデルセン賞作家賞をはじめ、数々の文学賞に輝くファンタジー文学の旗手・上橋菜穂子の代表作『精霊の守り人』が初の舞台化!幼いチャグム皇子と女用心棒バルサが繰り広げる冒険ファンタジーを音楽劇で楽しめます。バルサ役の梅田彩佳さんは「バルサの目の奥にある決意、強さ、優しさをお客様に届けたい」と意気込みを語っています。

出演：梅田彩佳、渡部秀、水石亜飛夢、小野塚勇人(劇団EXILE)、健人、唐橋充、黒川想矢、雛形あきこ、山崎樹範 ほか

【全席指定】5席：6,000円 A席：4,000円 B席：2,000円

※3歳未満の入場はご遠慮ください。

新潟県民会館 Tel.025-228-4481 新潟県文化課 Tel.025-280-5139

【主催】新潟県、令和5年度舞台芸術を活用した県民参加・体験拡大プロジェクト実行委員会、(公財)新潟市芸術文化振興財団、(公財)ニッセイ文化振興財団[日生劇場]



9/9土 14:00 発売日▶7/3(月) 小千谷市民会館

県主催 小千谷市民会館 開館50周年記念事業 はじめての落語

「落語のイロノ」や「寄席囃子」など、落語がさらに面白くなる講座付き公演。

出演：林家たい平、林家はな平、春風亭一花、三遊亭二之吉、稲葉千秋(お囃子)



【全席指定】一般：2,000円 中学生以下：500円(当日各500円増)

※5歳未満の入場はご遠慮ください。

小千谷市民会館 Tel.0258-82-9111

【主催】新潟県、小千谷市、令和5年度舞台芸術を活用した県民参加・体験拡大プロジェクト実行委員会

9/9土 19:30 椎崎諏訪神社能舞台

9月公演 井筒 天領佐渡両津新能

佐渡宝生流宗家本間家一門による佐渡随一の薪能公演。加茂湖を望む椎崎諏訪神社能舞台にて、篝火の幻想的な雰囲気の中、民衆の手で支えられ育まれてきた幽玄の世界を体感。



関連イベント

天領佐渡両津薪能 10月特別公演 10/21(土)19:30 椎崎諏訪神社能舞台 熊坂シテ:金井雄資 全席自由 一般3,000円

【全席自由】一般：2,000円 高校生以下：無料

(一社)佐渡観光交流機構両津支部 Tel.0259-23-3300

【主催】アースセレブレーション実行委員会、佐渡市、天領佐渡両津薪能実行委員会

8/27日 14:00 長岡市立劇場 大ホール

キープ・クラシック・バレエ 『白鳥の湖』全2幕 県主催

歴史と芸術にあふれるウクライナより、若さと気品に満ちたバレエ団が来日!バレエの代名詞といえる作品。初めてのバレエとしても、何度も観るバレエとしても文句なしのプログラム。4歳からご入場いただけます。 ※演奏は特別録音音源を使用



【全席指定】一般：4,500円 4歳~高校生：1,500円

※4歳未満の入場はご遠慮ください。

(公財)長岡市芸術文化振興財団 Tel.0258-29-7715

【主催】新潟県、(公財)長岡市芸術文化振興財団、令和5年度舞台芸術を活用した県民参加・体験拡大プロジェクト実行委員会

9/10日 14:00 新潟市北区文化会館 ホール

北区うたの祭典2023 県主催

少年少女合唱団の明るい歌声と、大人の合唱団の豊かな歌声がホールいっぱいに響く1日。誰もが知っている楽しい歌を元気にお届けします!



2022年「北区うたの祭典」より

【全席自由】一般：1,000円 4歳~高校生：500円

※4歳未満の入場はご遠慮ください。

新潟市北区文化会館 Tel.025-388-6900

【主催】新潟県、新潟市北区文化会館、令和5年度舞台芸術を活用した県民参加・体験拡大プロジェクト実行委員会

9/23土 祝 9/24日 胎内市産業文化会館 13:30 湯沢町公民館 14:00

発売日▶胎内公演：7/11(火)

発売日▶湯沢公演：7/24(月)

鼓童交流公演2023 県主催

太鼓の魅力が五感で感じられる舞台。太鼓体験コーナーや楽しいトークが人気。



出演：鶴見龍馬、小平一誠、平田裕貴、渡辺ちひろ、定成啓、廣崎一馬、小川蓮菜

【全席自由】一般：2,000円 中学生以下：500円(当日各500円増)

※5歳未満の入場はご遠慮ください。

胎内市産業文化会館 Tel.0254-43-6400 湯沢町公民館 Tel.025-784-2460

【主催】新潟県、胎内市教育委員会(胎内公演のみ)、湯沢町教育委員会(湯沢公演のみ)、令和5年度舞台芸術を活用した県民参加・体験拡大プロジェクト実行委員会

7/9日まで **10:00~17:00** (券売は16:30まで)
月曜休館(祝日の場合、その翌日)

にいがた文化の記憶館

金子孝信
～絵に託した熱き想い～

金子孝信は画家を志し、東京美術学校日本画科を卒業。ほどなく、中国大陸で戦死した。細密な描写など、伝統的な日本画とは異なるモダンな画風が特徴。戦地から描き送った絵はがきが戦争の不条理を訴える。



「銀座街頭」(金子孝信、昭和11年)

一般:500円
高校生以上:300円 中学生以下:無料

にいがた文化の記憶館 Tel.025-250-7171

【主催】にいがた文化の記憶館、新潟県、新潟日报社

7/17日まで **10:00~18:00**
(券売は17:30まで)6/26、7/10休館

新潟県立万代島美術館

糸で描く物語
刺繍と、絵と、ファッションと。

中・東欧の民俗衣装、イヌイットの壁掛けや現代の絵本原画、イラスト、オートクチュール刺繍などさまざまな分野の作品約230点を通して、刺繍の魅力を紹介しします。



《ダブル製壁掛け(夏の生活、冬の生活)》
北海道立北方民族博物館蔵

関連イベント

●ファミリーデー
会期中の日曜日10:00~13:00
小さなお子様が展示室で少々声を出しても大丈夫な日です。親子で、ご家族で、リラックスしてご鑑賞ください。(小さなお子様連れのお客様が楽しく鑑賞できるように、来館者の皆様にはご理解とご協力をお願いいたします。)

一般:1,400円
高校・大学生:1,100円 中学生以下:無料

新潟県立万代島美術館
Tel.025-290-6655

【主催】新潟県立万代島美術館、TeNYテレビ新潟、糸で描く物語新潟展実行委員会

7/17日まで **9:30~18:00**
(券売は17:30まで)月曜休館(ただし、7/17は開館)

新潟市美術館

富井 大裕 みるための時間

画紙やスーパーボールなどの日用品が、富井大裕(とみいもとひろ1973年新潟市〜)の手にかかると姿や性質はそのままに思いがけない造形=「作品」が立ち現われます。作家のしかける展覧会という装置へようこそ。



富井大裕 (ball sheet ball (see through))2014年
新潟市美術館蔵、撮影:内藤孝子
© Motohiro Tomii, Courtesy of
Yumiko Chiba Associates

関連イベント

●アーティストトーク
「みるための時間について話す時間」
講師:富井 大裕氏(本展出品作家、美術家)
6/25(日)14:00~15:30、講堂、聴講無料、申込不要、定員80名(先着順)
●学芸員によるギャラリートーク
7/9(日)14:00~14:30、要当日観覧券

一般:1,000円
高校・大学生:800円 中学生以下:無料

新潟市美術館
Tel.025-223-1622

【主催】新潟市美術館

7/1日→**8/27日**
9:00~17:00
(券売は16:30まで)月曜休館(祝日の場合、その翌日)

新潟県立近代美術館

フランス・モダン・ポスター
京都工芸繊維大学美術工芸資料館コレクション
華麗なるパリベル・エポック展

19世紀末から20世紀初頭にかけてのフランスは、「ベル・エポック(豊かな良き時代)」と呼ばれ、ロートレックやミュシャがデザインしたポスターが街角を彩っていました。ポスターの名品約130点を紹介します。



アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック
《ディヴァン・ジャポネ》1892年

関連イベント

●講演会「ベル・エポックとデザイナーアール・ヌーヴォーからアール・デコまで」
講師:平芳幸浩氏(京都工芸繊維大学 美術工芸資料館 教授)
7/1(土)14:00~15:30、講堂、聴講無料(要観覧券※半券可)申込不要、定員165名(先着順)

一般:1,300円
高校・大学生:1,100円 中学生以下:無料

新潟県立近代美術館
Tel.0258-28-4111

【主催】新潟県立近代美術館、UX新潟テレビ21、「華麗なるパリベル・エポック」展新潟実行委員会

7/1日→**8/27日**
10:00~17:00 (券売は16:30まで)
月曜休館(祝日の場合はその翌日)ただし、7/24、8/14は開館

新潟市新津美術館

生誕140年 ユトリ口展「白の時代」を中心に

20世紀前半、哀愁漂うフランスの情景を描いて一世を風靡した画家モーリス・ユトリ口(1883~1955)。本展では、ユトリ口の全盛期「白の時代」の油彩画30点以上を含む、国内コレクション約70点を展示します。



(可愛い聖体拜受者)、
トルシー=アン=ヴァロアの教会(エクス)
1912年頃
© Hélène Bruneau 2023

関連イベント

●講演会「ユトリ口とその時代」
講師:松沢寿重氏(新潟市新津美術館館長)
7/2(日)13:30~15:00、市民ギャラリー
聴講無料 申込不要、定員50名(先着順)

●学芸員による解説会
7/15(土)、8/20(日)14:00~14:30、展示室
聴講無料(要当日観覧券)申込不要、各回定員30名(先着順)

一般:1,200円
高校・大学生:1,000円
中学生以下:無料

新潟市新津美術館
Tel.0250-25-1300

【主催】新潟市新津美術館、UX新潟テレビ21

7/15日→**8/27日**
9:30~17:00 (券売は16:30まで)
月曜休館(祝日の場合はその翌日)、ただし8/14は開館

新潟県立歴史博物館

新潟県立歴史博物館 令和5年度 夏季企画展
NST開局55周年・上杉景勝没後400年
上杉景勝 その生涯 展

上杉謙信の後継の座につき、戦国時代末期に越後・佐渡の統一を成し遂げた武将、上杉景勝。2023年は景勝の没後400年にあたります。景勝ゆかりの文化財からあらためてその足跡を見直します。



鉄黒漆塗紺糸威異製最上胴具足
(伝上杉景勝所用) / 当館蔵

関連イベント

●関連講座「上杉景勝ゆかりの伝来資料」
講師:前嶋 敏(新潟県立歴史博物館研究員)
7/22(土)、講堂、聴講無料、要申込
●記念講演会「豊臣期上方における上杉家の人々」
講師:片桐 昭彦氏(新潟大学人文学部准教授)
8/20(日)、講堂、聴講無料、要申込

一般:1,040円
高校・大学生:600円 中学生以下:無料

新潟県立歴史博物館
Tel.0258-47-6130

【主催】新潟県立歴史博物館、NST新潟総合テレビ、上杉景勝展実行委員会、新潟日报社

7/23日 14:00

長岡リリックホールシアター

リリック・ジュニア・ミュージカル公演
はじめて王国
～ソロコンサートはぜったいぜつめい～

「はじめて王国シリーズ」のかわいい絵本の世界が
長岡オリジナルミュージカルに!公募が集まった
元気いっぱいな子どもたちが魅せる、演技や歌にダンスにご注目!

出演:リリック・ジュニア・ミュージカル、原作文:とうじょうさん
絵:たちもとみちこ(「はじめて王国1～ソロコンサートはぜったいぜつめい～」小学館刊)
脚本・作詞:高橋正典、脚本・演出:坂口阿紀、音楽・演奏:谷川賢作
講師:ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ

¥【全席自由】1,000円 (公財)長岡市芸術文化振興財団
Tel.0258-29-7715

【主催】(公財)長岡市芸術文化振興財団



7/29日 14:00

新潟市秋葉区文化会館

オペラシアター-こんにゃく座公演
オペラ《ルドルフとイッパイアッテナ》

長年子どもたちを夢中にさせてきた児童文学のベストセラー
『ルドルフとイッパイアッテナ』がオペラになりました。
生の歌声とピアノの音色が会場いっぱいに広がります。
本物の声と質の高い音楽を皆様へお届けします。

原作:斎藤洋 講談社刊『ルドルフとイッパイアッテナ』による
台本:いずみ淳、作曲:信長貴富、演出:立山ひろみ、音楽監督:萩京子
出演:オペラシアター-こんにゃく座・五味貴秋(ピアノ)

¥【全席指定】3,000円 新潟市秋葉区文化会館
Tel.0250-25-3301

【主催】新潟市秋葉区文化会館



「こどもとワクワク・ドキドキを!!」
親子で楽しむ

県民文化活動推進事業(通常枠)

8/17日→**20日**

リゅーとびあ新潟市民芸術文化会館
ホワイエ特設ステージ 10:00~16:00

子どもと舞台芸術大博覧会
あそびの森「サブステージ」

子どものための演劇・音楽・芸能など26のステージを上演する
フェスティバル「子どもと舞台大博覧会in NIIGATA」が開催されます。
有料ステージとは別に子どもを中心にどなたでも楽しめるように、
ホワイエに組んだ特設ステージで、歌あり、マジックあり、
名人芸あり…のプロによるショートステージを上演します。

¥ 入場無料

にいがた森もりサポートチーム
Tel.025-264-7060

【主催】子どもと文化大博覧会実行委員会、
(公財)新潟市芸術文化振興財団、
にいがた森もりサポートチーム



8/27日 14:00

県主催
青海総合文化会館(きらら青海)

東京コンテンポラリーシアター 音楽演劇
「カプリス城の気まぐれ女王様」

音楽家達が自ら演奏し、お芝居をする
衝撃のクラシックエンターテインメント『音楽演劇』
ワガママで音楽が大好きな女王様と宮廷音楽家達が繰り広げる
楽しい&愉快、そしてちょっと心温まる物語です。

関連
イベント
出演者を募集し、前日にワークショップと
リハーサルを行います。

¥【全席自由】一般:2,000円 中学生以下:500円
未就学児:無料(当日各500円増)

糸魚川市民会館 Tel.025-552-5900

【主催】新潟県、糸魚川市、令和5年度舞台芸術を活用した
県民参加・体験拡大プロジェクト実行委員会



Culture
Niigata

●発行回数 年4回(6月、8月、11月、2月)
●発行部数 13,000部
●配布先 市町村、公民館、文化施設、大学等

●発行 新潟県観光文化スポーツ部 文化課
TEL.025-280-5139
Mail.ngt150030@pref.niigata.lg.jp

URAKATA 裏古語

舞台裏から、芸術の新たな魅力を発信!

演出はオーケストラの指揮者と同じ

役者という楽器で最高のハーモニーを作る



演出 一色 隆司

舞台を製作しているのはアーティストだけではない。音楽・文化・芸術をもっと身近に感じてもらうため、ここでは裏方で活躍する人々をご紹介します。第28回は9月3日(日)に新潟県民会館で上演となる音楽劇「精霊の守り人」の演出を担当する一色隆司さんに話を聞いた。

子どもも大人も楽しめる 音楽劇「精霊の守り人」

舞台を初めて観る多くの子どもたちの心に永く残る作品を目指し、毎年、日生劇場および各地で開催されている「日生劇場ファミリーフェスティバル公演」。日生劇場開場60周年の節目となる今年、3作品の上演が決まっているが、その一つが音楽劇「精霊の守り人」。原作は上橋菜穂子さんの同名小説で、精霊の卵を宿した幼いチャグム皇子と女用心棒・バルサの冒険を描いた物語だ。すでにテレビドラマやアニメ、ラジオドラマなど様々な形で親しまれているが舞台化は初めてのこと。新潟では9月3日(日)に新潟県民会館大ホールで上演される。

今回、この音楽劇「精霊の守り人」の演出を担当するのが一色隆司さん。NHKエンタープライズに所属し、これまでに「坂の上の雲」「紙の月」、大河ドラマ「麒麟がくる」などの映像作品に加え、舞台作品でも多くの演出を手がけている。2017年放送のドラマ「精霊の守り人」の第三部の演出にも携わっている。「ドラマ版の時、作者の上橋先生と何度も話し合っているから、バルサの深い心情や本作の世界観などコアの部分はつかめています。ただ、今回はまた、全く新しいものを作り上げていくつもりです。上橋先生の思いを大事にしつ

つ、舞台ならではのバルサとチャグムの冒険物語に仕上げたいと思います」

俳優の奏でる音色を尊重 稽古と本番で作品を育てていく

演出とは舞台や映像作品の芸術性、エンターテインメント性を引き出し、まとめ上げる仕事だ。「今回の『精霊の守り人』で言えば、日生劇場のプロデューサーからどんな思いを届けたいかを聞いて、その上でどのような内容にするか脚本家と話し合いました。方向性が見えてきたところで舞台美術、照明、音楽、衣裳などそれぞれのプロにイメージを伝え相談しながら、全体の演出プランを組み立てていきました」

脚本ができるといよいよ稽古が始まるが、そこで俳優たちへ行う演技指導も演出の大切な仕事だ。「演出はオーケストラの指揮者に似ています。約1カ月の稽古期間を費やして、俳優さんという様々な楽器の音色を生かし、最高のハーモニーを作り上げていくわけですから。楽器同様、俳優それぞれに個性があります。僕はその個性を尊重したいので、役へのアプローチもそれぞれのやり方に任せています。例えば、バルサだったら、演じる梅田彩佳さんが思う(バルサの)芝居を奏でてもらえばいい。ただ、それが本作の世界観からズレた“音”だと感じたら、彼

女と話し、調整させてもらいます」

全体を俯瞰で見ながら一人ひとりの俳優から出てくる“音色”を調整し、一つの作品として作り上げていく。「不思議なもので稽古を重ね、議論を重ねていくうちに俳優たちから違った“音”が出てきてどんどん作品が良くなっていきます。まさに俳優も作品もそして僕自身も一緒に育っていく感じ。その変化も演出の醍醐味なんです」作品のクオリティを決めるのは作り手たちの思いの強さ。だからこそ常に「人の心を動かすことのできる人の物語を描いていく」という気持ちで一色さんは演出に携わっている。

今こそ希望の光を感じる 作品を届けたい

さらに一色さんは数年前から、今の時代の閉塞感に追い打ちをかけるのではなく、希望のある作品を世に送り出したいという思いが強くなっていると言う。「そういう意味でも『精霊の守り人』は、今上演する意義のある作品です。つらいこともあるかもしれませんが、希望を捨てずに明るく生きていけばきっと良いことがあるというメッセージが伝わる作品ですから。子どもたちには『君のそばにはバルサのような大人がいて守ってくれているから安心していいんだよ』と伝えることを願っています。それは原作者の上橋先生の思いでもあるので」

音楽劇なので楽曲にもかなりこだわったそう。センチメンタルで美しく儂い曲もあれば、勇気を持って生きていこうという力がもらえる曲もある。大人も子どもも存分に楽しめそうだ。

<プロフィール>
株式会社NHKエンタープライズ
第3制作センタードラマ部
シニア・ディレクター
いっしき たかし
一色 隆司



大阪府出身。南カリフォルニア大学(USC)映画学部制作学科卒業。1991年にNHKエンタープライズ入社。ハイビジョン関連の事業や番組に従事し、99年、ドラマ部へ異動。「精霊の守り人」シリーズ第三部、大河ドラマ「麒麟がくる」、「大河ドラマが生まれた日」など数々のドラマ演出を担当。2016年からは舞台の演出も多数。その一つにゆーとびあ新潟市民芸術文化会館制作「人形の家」(イブセン原作)がある。他にも展示博覧会のパビリオンのソフトやドキュメンタリーなど多岐にわたるジャンルを手がけている。

公演情報 日生劇場ファミリーフェスティバル 2023
音楽劇「精霊の守り人」新潟公演
9/3(日)14:00 新潟県民会館 大ホール
※詳しくはP6をご覧ください。